

【資料紹介】

二松學舎大学S R F所蔵『孝経』諸本目録

清水 信子

はじめに

『孝経』のテキストには、周知の通り古文二十二章と今文十八章の二種があり、その注釈にまず古文に漢の孔安国伝、今文に漢の鄭玄注がある。但しいずれも仮託と言われている。その他主な注釈として、古文には隋の劉炫が孔安国伝に注釈した『孝経述義』、宋の司馬光の『古文孝経指解』、朱熹の『孝経刊誤』、その『刊誤』に基づく元の董鼎の『孝経大義』などがある。なお、古文は唐後期に滅び、宋代以降の古文は司馬光が秘閣にあった古文に注釈した『指解』の経文に基づくものであり、その経文は日本に伝来した唐以前のそれとは異なる。そのため「宋古文」また「趙宋古文」等とも称される。一方、今文には唐の玄宗による御注（経文は今文を基本として、注釈は孔安国、鄭玄等を折衷）とその元行冲疏、そしてその疏に基づく宋の邢昺の『孝経正義』などがある。

日本において『孝経』は、『十七条憲法』以前より伝来したとされ、大学の必修科目として定められたように、古くより必読書のひとつであった。そしてその道徳的内容に加え、短編であるという読みやすさから、初学童蒙の教科書として広く普及した。古文の孔安国伝、今文の鄭玄注、また玄宗御注といずれも伝来したが、室町末期頃までは主に孔伝が講読された。江戸期になると、孔伝の古活字版にはじまり、出版業の発展とともにその他諸注の和刻が相次ぎ、版を重ね、また孝経学としての研究も進み、日本人による注釈書も古文系今文系から折衷系など多種多様に出版された。それら『孝経』諸本は現代に多く伝わり、まとまって蒐集、所蔵している個人、機関も少なくない。

日本における『孝経』諸本について総合的に目録化されたものとして阿部隆一・大沼晴暉両氏による「江戸時代刊行成立孝経類簡明目録」（『斯道文庫論集』第十四号／慶應義塾大学附属

研究所斯道文庫／一九七七年）がある。該目録は、古文今文各注釈書の刊本三一九点とそれらの各後印覆刻等約三二〇種、未刊本九〇点が収録され、各々の詳細、出版系統等が明確にされている。よって斯界の研究に資するものであり、本目録においても多く参考とさせていただいた。

本目録の『孝経』諸本は、旧蔵者の詳細は明らかではないが、市場に一括して出されていたものを二松學舎大学SRF（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）の一環として購入したもので、江戸期から明治初期頃の版本を中心に全一〇三點・古文：六九點（單經本一二點、孔伝一七點、その他中国人注釈一〇點、日本人注釈三〇點）、今文：二五點（單經一點、鄭注一點、御注一三點、邢昺疏一點、日本人注釈九點）、折衷本：三點、その他：六點。『孝経』諸本総数からすればその数は一部であるが、ここから多少なりとも江戸期から明治期にかかると『孝経』受容の一端が窺測されるものと考ええる。

附記 本目録の作成にあたり、本学文学部四年生の鈴置拓也氏には、資料整理、撮影など多大なるご協力を賜り、末文ながらここに記して心より謝意を表します。

## 凡例

一、本目録は、二松學舎大学SRF（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）所蔵『孝経』諸本一〇三點の目録である。

一、分類は、以下の通りまず経文の系統により大別し、次いで各々の注釈別に成立・出版年代順に排列した。

### I 古文

a 單經      b 孔安国伝      c 中国人注釈      d 日本人注釈

### II 今文

a 單經      b 鄭玄注      c 御注      d 中国人注釈

e 日本人注釈

### III 折衷本

### IV 総論その他

一、表記は、原表記に関わらず常用漢字体に統一した。

一、各資料は、第一行に書名・巻数、編著者事項、出版事項、冊数、整理番号、次いで【版式】（匡廓内寸法〈縦×横〉、界線行字数・注文書式、注・点等、魚尾・口、版心事項、見返し、題簽）【著録事項】【刊記】【奥付】【書入・印記】を記し、末の「※」以下は特記事項等を記した。なお、排印本については原則として基本的書誌事項のみ記し、版式以下詳細は省略した。

一、書名は、原則として内題（本文巻頭題）より定めたが、外題、序首等、その他通行する書名がある場合は（□）内に補記した。

一、同版、及び後印、覆刻等同一出版系統にある資料については、書名を「同」とし、同版の場合は整理番号の下に注記し、版式以下同一事項は省略した。

一、編著者事項は、本文巻頭の編著者記載事項により、邦人著作については、原則として原本記載事項を表記通り記載し、異名等の場合は適宜字号等を補った。漢籍、及び漢籍和刻本については、原本表記に関わらず、朝代、或いは国名を冠した各本姓名、続いて著述者は「撰」、編者は「輯」、その他、校注者等は「校」「訂」「注」等と附した。本文巻頭に明記されていない場合は、序跋等により適宜定めた。

一、出版者については、出版地を冠したが、江戸期の資料については、原本表記に関わらず、「江戸」「京都」「大坂」に統一した。

一、括弧、記号については以下の通り。

・〈〉…小字  
・〔 〕…推定事項  
・（ ）…補足事項  
・／…改行  
・—…跨行の記載事項に接する場合

## I 古文

### a 単経

孝経 延享元年（一七四四）江戸須原屋小林新兵衛刊本 大一

冊 Ia1

【版式】双辺二一・〇×一三・九、有界九行一八字、句点・返点・訓合符・四声点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝経」

【著録事項】首孔安国「古文孝経序／孔安国」、次「孝経／開宗明誼章第一」末「春台先生訓点」、未有「書林嵩山房藏板目錄〈江戸日本橋／南二町目角〉小林新兵衛」

【刊記】（木記）「延享元甲子夏五月 日／須原屋小林新兵衛梓」

同 Ia2（Ia1同版）

【版式】双辺二〇・〇×一三・九、（版面同前）、題簽「古文孝経正文」

【著録事項】（同前）、未有「江戸 書林嵩山房藏梓目録」

【刊記】同前

【書入・印記】裏見返し書入「辻方好」又不明印二 表紙に朱文正方印「大森／文庫」紙片貼付

同 天明三年（一七八三）江戸嵩山房小林新兵衛延享元年（一七四四）刊本重刊 大一冊 Ia3

【版式】 双辺二〇・〇×一三・九、(版面同前)、題簽「古文孝經正文」

【著録事項】 同前

【刊記】 「延享元甲子夏五月 日／天明三年〈癸／卯〉九月日再板／東都嵩山房 江戸日本橋南二町目／小林新兵衛梓」

【書入】 末丁裏「文化四〇〇月十七日」

孝經 江戸後期江戸嵩山房小林新兵衛刊本 大一冊 Ia 4

【版式】 单辺二一・四×一四・〇、有界六行一二字、句点・返点・四声点・添仮名、無魚尾白口、版心題「孝經」、見返し「春台先生訓点／古文孝經／東都書肆 嵩山房梓」

【著録事項】 首孔安国「古文孝經序／孔安国」、次「孝經／開宗明誼章第一」、末有「書林嵩山房藏板目錄〈東都日本橋／通二町目角〉小林新兵衛」

同 慶応二年(一八六六) 江戸嵩山房小林新兵衛刊〔明治期〕後印本 大一冊 Ia 5

【版式】 单辺二一・四×一四・三、(版面同前)、見返し「春台先生訓点／古文孝經／東京書肆 嵩山房梓」、題簽「〈大／字〉 古文孝經正文〈再版〉」

【著録事項】 同前

【奥付】 「(出版広告)／慶応二年丙寅五月再版／東京書肆 嵩山房 日本橋通一町目 小林新兵衛梓」

孝經 〔明治期〕刊本 大一冊 Ia 6

【版式】 单辺二〇・四×一三・四、有界六行一二字、句点・返点、無魚尾白口、版心題「孝經」、見返し「古文孝經」、題簽「古文孝經 完」

【著録事項】 首「孝經／開宗明誼章第一」

【印記】 「佐藤仁之助藏書」(朱文長方印)

孝經 明治二十四年(一八九二) 東京松成保太郎刊本 大一冊 Ia 7

【版式】 单辺一八・九×一四・〇、有界七行一字、句点・返点・四声点・添仮名、無魚尾白口、版心題「孝經」

【著録事項】 首「孝經／開宗明誼章第一」

【刊記】 「印刷出版／兼発行者 東京平民 松本保太郎／浅草茅町二丁目／五番地」明治二十四年四月十五日印刷／全年四月廿五日出版

【印記】 「足柄下／郡教育／委員会」(朱文正方印)

孝經 闕名首書 日本大橋貞裕(綽堂)校 明治十三年(一八八〇) 東京小泉堂松村孫吉刊本 半一冊 Ia 8

【版式】 双辺両層一八・九(上二・五下一六・四)×一三・五、有界八行一字、首書・句点・返点・四声点・添仮名、單魚尾白口、版心題「孝經正文」、見返し・書套「孔安国編輯／綽堂先生校本」／〈改正／音訓〉古文孝經／東京 小泉堂梓、題簽「〈改正／音訓〉 古文孝經 〈孔安国編輯〉 完」

【著録事項】 首「孝經／開宗明誼章第一」末「大橋貞裕校本」

【刊記】「明治十三年二月十七日鰯刻御届／鰯刻出版人 芝区三島町十番地／松村孫吉」

孝經 闕名首書 日本大橋貞裕（綽堂）校 明治一四年（一八

八一）東京高橋源助刊本 大一冊 Ia 9

【版式】単辺両層二三・〇（上二・九下二〇・一）×二四・四、有界七行一二字、首書・句点・返点・四声点・添仮名、無魚尾白口、版心題「孝經校本」、見返し「綽堂先生校本／〈改正／音訓〉古文孝經／東京書林 芳潤堂発兌」

【著録事項】首孔安国「古文孝經序／孔安国」、次「孝經／開宗明誼章第一」

【刊記】「明治十四年十一月七日御届／原版主 愛知県平民／栗田東平／尾州名古屋本町通／十一丁目／鰯刻人 東京府平民／高橋源助／神田区通新石町／十九番地」

同 明治一六年（一八八三）東京若林宗七刊本 大一冊 Ia

10

【版式】単辺両層二二・八（上二・八下二〇・〇）×二四・二、（版面同前）、見返し「綽堂先生校本／〈改正／音訓〉古文孝經／東京書林 文叢閣発兌」、題簽「〈改正／音訓〉古文孝經 完」

【著録事項】同前

【刊記】「明治十六年十二月廿四日御届 原版主 栗田東平／尾州名古屋本町通十一丁目／鰯刻人 若林宗七／麴町区飯田町

五丁目卅二番地／発兌書肆 文叢閣／右同町／広文堂／日本橋区鉄炮亭」

孝經 日本広間福太郎鼈頭略解訓点 明治一七年（一八八四）

東京広間福太郎刊本 大一冊 Ia 11

【版式】単辺両層二二・四（上二・八下一九・六）×二四・二、有界七行一二字、首書・句点・返点・四声点・添仮名、無魚尾白口、版心題「鼈頭略解古文孝經」、見返し「〈漢魯人孔安国伝／日本広間福太郎〈略解及／訓点〉／〈鼈頭／略解〉古文孝經／東京書肆 青山堂蔵版」

【著録事項】首孔安国「古文孝經序／孔安国」、次「孝經／開宗明誼章第一」

【刊記】「明治十七年五月十九日板権免許／同年六月廿八日出板／〈鼈頭略解及／訓点者兼〉出版人 東京府平民／広間福太郎／東京京橋区木挽町壹丁目十一番地／発兌人 東京府平民／青山清吉／東京小石川区大門町廿五番地」

【書入・印記】表紙書入「古文孝經 全」又「一等賞（又有朱文正方印「乙□／賞典」）三味堂標林（又有朱文正方印「梵□□／小標□／教師□」、裏表紙書入「石橋旭泉」（又有朱文円印「石諱／見□」）

孝經 日本綿引泰評註訓点 明治一七年（一八八四）東京鈴木

吉蔵刊本 半一冊 Ia 12

【版式】単辺両層二〇・〇（上二・四下一七・六）×二二・一、

有界七行一二字、首書・句点・返点・四声点・添仮名、単魚尾白口、版心題「古文孝経」魚尾上「標註訓点」象尾「文選樓藏」、見返し「埼玉県／師範学校長」綿引泰先生標註訓点／「標註／訓点」古文孝経／東京教育書房 文選樓藏」

【著録事項】首孔安国「古文孝経序／孔安国」、次「孝経／開宗明誼章第一」

【刊記】「明治十七年五月／十五日板権御願／同年五月三十日／版權免許／同年六月二十日／刻成發兌」「標註訓点人 茨城県士族／綿引泰／府下小石川区金富町五十三番地／出版人 東京府平民／鈴木吉藏／府下京橋区桶町十六番地／専売人 同／吉川半七／同 同区南伝馬町一丁目十二番地」

## b 孔安国伝

孝経 漢孔安国伝 江戸期写本 大一冊 Ib1

【書式】单辺二〇・四×一三・八、無界八行一七字注文小字双行、傍点、無魚尾白口、版心題「古文孝経」

【著録事項】首孔安国「古文孝経序 孔安国伝」、次「古文孝経 孔氏伝／開宗明義章第一」、次慶長七年清原秀賢「跋」末「慶長壬寅八月壬子明経儒清原秀賢誌」

【書入・印記】眉注あり、印記「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝経 漢孔安国伝 日本太宰純音 享保一七年（一七三二）刊

本（紫芝園藏版） 大一冊 Ib2

【版式】双辺二〇・一×一四・〇、有界九行一八字注文小字双行、句点・返点・四声点、単魚尾白口、版心題「孝経」象尾「紫芝園」

【著録事項】首享保一六年太宰純「重刻古文孝経序」末「日本享保十六年辛亥十一月壬午／太宰純謹序」、次孔安国「古文孝経序／孔安国」、次「孝経／漢魯人 孔安国伝／日本信陽太宰純音／開宗明誼章第一（経一百二／十五字）」

【奥付】「享保十七年壬子仲冬朔旦／東都 紫芝園藏版」又有朱印（白文正方印）「紫芝園／藏版不／許翻刻」

【印記】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）、「鈴木」（朱文円印） 同 Ib3（Ib2・4同版）

【版式】双辺二〇・一×一三・九、以下同前

【著録事項】【奥付】同前

【書入】朱筆あり。

同 Ib4（Ib3・4同版）

【版式】双辺二〇・一×一三・九、（版面同前）、題簽「孝経□」

【著録事項】【奥付】同前

【書入・印記】朱筆墨筆あり、見返し書入「村瀬氏」、印記「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

同 安永七年（一七七八）江戸嵩山房小林新兵衛拋享保一七年（一七三二）刊本重刊 大一冊 Ib5



【版式】 双辺二〇・七×一三・六、(版面同前)、題簽「古文孝経 完」(後補鈔)

【著録事項】 同前

【奥付】「享保十七年壬辰子仲冬朔旦／東都 紫芝園藏版／安永七年戊戌春正月日 新板／書肆嵩山房小林新兵衛發行」

【書入・印記】 朱筆墨筆あり、印記「孝習／樓藏／書之印」(朱文正方印)、「多賀藏／珍賞印」(朱文長方印)

同 寛政六年(二七九四) 江戸嵩山房小林新兵衛掬享保一七年(二七三二) 刊本重刊 大一冊 Ib6 (Ib7同版)

【版式】 双辺二〇・〇×一三・七、(版面同前)、題簽「孝経〈再刻〉」

【著録事項】 同前

【奥付】「享保十七年壬辰子仲冬朔旦／東都 紫芝園藏版／寛政六年甲寅十一月 再板／書肆嵩山房小林新兵衛發行」又有朱印(白文正方印)「紫芝園／藏版不／許翻刻」

【書入・印記】 墨筆あり、印記「ナカノ／□□／マツヲカ」(墨文円印)

同 Ib7 (Ib6同版)

【版式】 双辺二〇・四×一三・八、(版面同前)、題簽「孝経〈再刻〉」

【著録事項】 同前

【奥付】 同前(朱印無)

【書入・印記】 朱筆墨筆あり、不明印一

同 文化四年(一八〇七) 江戸嵩山房小林新兵衛掬享保一七年(一七三二) 刊本重刊 大一冊 Ib8

【版式】 双辺二〇・一×一三・八、以下同前

【著録事項】 同前

【奥付】「享保十七年壬辰子仲冬朔旦／東都 紫芝園藏版／文化四年丁卯三月 新板／書肆嵩山房小林新兵衛發行」又有朱印(白文正方印)「紫芝園／藏版不／許翻刻」

【書入・印記】 朱筆あり、見返し書入「斎藤八十次郎」、印記「平□／信富」(朱文長方印)

同 江戸期刊本 大一冊 Ib9

【版式】 双辺二〇・二×一三・八、以下同前

【著録事項】 同前

【書入・印記】 墨筆藍筆あり、印記「角田氏／藏書印」(朱文長方印)、「伊澤」「野澤」(朱文円印)

同 明治九年(一八七六) 東京小林新兵衛掬享保一七年(一七三二) 刊嘉永二年(一八四九) 重刊本印 大一冊 Ib10

【版式】 双辺一九・九×一三・九、(版面同前)、題簽「孝経□(虫損)」

【著録事項】 同前

【奥付】「享保十七年八月 原版／嘉永二年三月 九刻／明治九年二月九日版權免許／註解者 故人太宰春台／嵩山房 東京

日本橋区通二丁目十三番地／版主小林新兵衛」

【書入】裏表紙「南長町 村（傍書「塾」） 宮崎藏書」

孝經（古文孝經標註） 漢孔安国伝 日本太宰純音 片山世璠

標註 文化一二年（一八一五）江戸嵩山房小林新兵衛刊本

大一冊 I b 11

【版式】双辺両層二三・〇（上三・七下一九・三）×一三・六

有界九行一八字注文小字双行、句点・返点・四声点・添仮

名、単魚尾白口、版心題「孝經」象尾「紫芝園」、見返し

「春台先生音 千里必究／古文孝經孔伝／兼山先生標註 嵩

山房梓（朱文正方印「嵩／山／房」）、題簽「古文孝經標註

〈再刻〉」

【著録事項】首明和九年片山世璠「標註古文孝經序」末「明和

九年壬辰春正月／兼山 山世璠謹撰」又有片山世璠識語（末

「山世璠重識」、次享保一六年太宰純「重刻古文孝經序」末

「日本享保十六年辛亥十一月壬午／太宰純謹序」、次孔安国

「古文孝經序／孔安国」、次「孝經／漢魯人 孔安国伝／日本

信陽 太宰純音一後学上毛 山世璠標註（第二・三行跨行）

／開宗明誼章第一（經一百二／十五字）

【奥付】「原本享保十七壬子年仲冬朔旦／（出版広告）／文化十

二年乙亥三月再刻／書肆嵩山房小林新兵衛梓」

【印記】「田原／臧書」（朱文正方印）

同 I b 12（I b 11同版）

【版式】双辺両層二三・〇（上三・七下一九・三）×一三・六、

以下同前

【著録事項】【奥付】同前

【書入】卷首奥付部「清吉」

孝經 漢孔安国伝 日本太宰純音 片山世璠国読 片山格參校

文政一二年（一八二九）江戸嵩山房小林新兵衛刊本 大一冊

I b 13

【版式】双辺二〇・一×一三・八、有界九行一八字注文小字双

行、句点・返点・四声点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝

經」象尾「嵩山房」、見返し「兼山先生訓点 千里必究／古

文孝經／嵩山房梓（朱文正方印「嵩／山／房」）、題簽「古

文孝經 全」（後補鈔）

【著録事項】首享保一六年太宰純「重刻古文孝經序」、次孔安国

「古文孝經序／孔安国」、次「孝經／漢魯人 孔安国伝（空

格）上毛 山世璠国読／日本信陽 太宰純音 孫格恭校／開

宗明誼章第一（經一百二／十五字）

【奥付】「（出版広告）／文政十二（己／丑）初夏／東都書肆

嵩山房 日本橋通南二丁目／小林新兵衛板」

【書入・印記】奥付書入「清治郎」、裏表紙「此書何方様江／参

りても／御読之上／下拙方江／御返し可被下候」又「清治

郎」（上から重ねて「唯七」、印記「岩淵／珍藏」（朱文正方

印）、「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）



古文孝經 漢孔安國伝 日本山本龍校 文化十一年（一八一

四）江戸嵩山房小林新兵衛刊本 大一冊 I b 14

【版式】 単辺二〇・〇×一四・二、有界九行二〇字注文小字双行、首書・句点・返点・音訓合符・添仮名、他単魚尾下黒口、版心題「古文孝經孔氏伝」、見返し「南陽山本龍校訂〈不由古訓／于何其訓〉／足利本（横書）古文孝經孔氏伝／（寛政一二年賀茂忠恕識語）」、題簽「（虫損）伝 全」

【著録事項】 首寛政一二年山本信有「刻足利本古文孝經序／北山 山本信有撰」末「寛政庚申五月朔」、次同年山本龍「足利本古文孝經序／南陽 山本龍謹撰」末「寛政十二年庚申五月」、次劉炫直解孔安國「古文孝經序／隋劉炫直解／孔安國」、次「古文孝經／漢魯人孔安國伝 日本足利山本龍校／開宗明義章第一（二百二／十五字）」

【奥付】 「山本太冲藏版／（出版広告）／文化甲戌之夏／東都書肆 嵩山房／小林新兵衛發行」

【印記】 「鴻宮艸／魅國臧」（朱文長方印）

古文孝經（古文孝經標註） 漢孔安國伝 「日本太宰純音」 高木熊一郎標註 明治一六年（一八八三）大阪築城勇助刊本 大一冊 I b 15

【版式】 単辺兩層二二・三×一四・八、有界九行一八字注文小字双行、首書・句点・返点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經」、見返し「高木熊一郎標註／古文孝經標註／浪華書林

温古書屋藏」、題簽「古文孝經標註 全」

【著録事項】 首孔安國「古文孝經序／孔安國」、次「古文孝經／漢孔安國伝 日本高木熊一郎標註／開宗明誼章第一」

【奥付】 「明治十六年九月十三日御届／同年十一月二十三日出版／標註者 大阪府平民／高木熊一郎／西区江戸堀北通二丁目卅二番地／出版人 大阪府平民／築城勇助／南区塩町四丁目十七番地」

【書入・印記】 表紙書入「金丸宥德携書」、印記「金丸／宥德／印章」（朱文正方印）

古文孝經 漢孔安國伝 日本深井鑑一郎校 明治四四年（一九一一）東京大場久吉・大阪吉岡平助排印本 半一冊 I b 16  
同 昭和五年（二六三〇）東京深井鑑一郎排印本 半一冊 I b 17

【印記】 「谷林／文庫」（朱文正方印）

c 中国人注釈

孝經〔指解〕 一卷 宋司馬光指解 天明七年（一七八七）大坂文粹堂増田源兵衛刊本 大一冊 I c 1

【版式】 双辺一九・九×一四・七、有界一〇行一八字注文小字双行、句点、単魚尾白口、版心題「孝經」、見返し「司馬温公指解／孝經／（大阪書林文粹堂増田保矩識語）」、題簽「孝經 〔司馬温公指解〕」

【著録事項】首司馬光「孝経指解序」末「司馬光序」、次「孝経／司馬光指解（第二・三行跨行）」

【奥付】「天明七年丁未正月／書肆 大阪堺筋長堀橋北入／増田源兵衛梓」又有朱文正方印「文粹堂」

【印記】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝経【指解】一卷 宋司馬光指解 日本神塾世猷校読 文化一

三年（一八一六）序刊名古屋片野東四郎等後印本 大一冊

Ic2

【版式】左右双辺一九・一×一三・四、有界九行一八字注文小字双行、首書・句点・返点・添仮名、単魚尾白口、版心題

「孝経指解」

【著録事項】首文化一三年神塾世猷「校刻孝経指解序」末「文

化十三年丙子秋八月朔／尾張 神塾世猷撰」、次司馬光「古

文孝経指解序／朝奉郎守殿中丞充集賢校理史館檢討臣司馬光

上進」、次「孝経 司馬温公指解／尾張 神塾世猷校読」、次

文化一三年佐容「跋」末「文化丙子秋佐容識」

【奥付】「諸国発行書肆（横書）江州大津 澤宗治郎／（他三七

氏略）／名古屋本町通七丁目 片野東四郎」

【書入・印記】朱引朱筆あり、表紙書入「孝経指解 尾張 神塾世猷」、印記「□野／蔵書」（白文長方印）「多賀臧／珍賞

印」

同 Ic3（Ic2・4同版）

【版式】左右双辺一九・〇×一三・五、（版式同前）

【著録事項】同前

【奥付】「発行書肆（横書）東京日本橋通壹町目 北畠茂兵衛（他二三氏略）／尾州名古屋本町通八丁目 片野東四郎」

【書入】裏表紙「田島氏蔵書」「Tashima Tatu（朱書筆記体）」

同 文化一三年（一八一六）序刊明治期大阪青木恒三郎後印本

大一冊 Ic4（Ic2・3同版）

【版式】左右双辺一九・七×一三・五、（版式同前）、題簽「箋註孝経指解 全」、見返し「司馬温公指解／箋註古文孝経／書肆嵩山堂梓」

【著録事項】同前

【奥付】「和漢洋書籍發兌処／〈東京帝国大学 京都帝国大学／

高等師範学校／第一高等学校／学習院 帝国図書館〉御用

書肆／発行印刷者 大阪市東区博労町四丁目廿七番邸／青木

恒三郎／製本發売所 東京市日本橋通壹丁目／青木嵩山堂／

全 大阪市中心斎橋筋博労町／青木嵩山堂」

孝経刊誤一卷 宋朱熹撰 日本（山崎闇斎）点 明暦二年（一

六五六）京都武村市兵衛刊本 大一冊 Ic5

【版式】双辺二一・四×一六・〇、無界七行一三字、返点・音訓合符・添仮名、双花魚尾白口、版心題「孝経刊誤」

【著録事項】首「孝経刊誤」、末淳熙一三年（朱熹跋二則）

【刊記】（木記）「明暦二（丙／申）仲呂吉辰／二条通松屋町／

書肆武村市兵衛刊行」

【書入・印記】表紙書入「孝經刊誤 全」、刊記部朱鉛筆書入「大正十四年より二百七十年」、印記「芸叢／之印」（朱文正方印）、「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝經刊誤一卷 宋朱熹撰 日本大槻清準訓点 文化八年（一八二一）仙台藩養賢堂刊本 大一冊 Ic 6

【版式】双辺一八・一×一四・五、有界八行一六字、返点・音合符・四声点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經刊誤」、見返し「宋朱子定本 日本後学大槻清準訓点／孝經刊誤／文化辛未季冬鐫 養賢堂藏」

【著録事項】首「孝經刊誤（古今文有不同／者別見考異）」、末淳熙一三年「朱熹跋二則」、末「松浦敬胤校字」

【書入・印記】表紙書入「孝經」、印記「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝經大義一卷 宋朱熹刊誤 元董鼎註 日本（林道春点）貞享元年（一八六四）刊京都栗山宇兵衛後印本 大一冊 Ic 7

【版式】单辺一九・六×一五・八、無界九行一六字注文小字双行、返点・音訓合符・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經大義」

【著録事項】首大德九年熊禾「孝經大義序／歳在乙巳陽復之月／前進士武夷熊禾序皆大德之九年也」、次「目錄」、次「孝經

大義（宋文公刊誤／鄱陽董鼎註）」、次成化二十二年徐貫

〔跋〕末「成化二十二年歲次丙午秋九月甲子／賜進士通奉大夫福建等処承宣布政使／司右布政使淳安徐貫謹識」

【刊記】「貞享元年甲子夏五月吉辰／栗山宇兵衛開板」（栗山宇兵衛開板）入木

【書入】朱筆あり。

孝經大義二卷（本末鼈頭本） 宋朱熹刊誤 元董鼎註 日本〔扛宗之〕首書 天明八年（一七八八）刊大坂藤屋善七後印本 大一冊 Ic 8

【版式】单辺鼈頭二四・五×一七・九（内一八・二×一四・五）、無界一〇行二〇字注文小字双行、鼈頭・傍注・返点・音訓合符・添仮名、双魚尾黑口、版心題「孝經新註」、題簽「孝經大義」

【著録事項】首大德九年熊禾「孝經大義序／歳在乙巳陽復之月

／前進士武夷熊禾序皆大德之九年也」、次「孝經大義目」（版心）、次「孝經大義（宋文公刊誤／鄱陽董鼎註）」、次成化二十二年徐貫〔跋〕末「成化二十二年歲次丙午秋九月甲子／賜進

士通奉大夫福建等処承宣布政使司右布／政使淳安徐貫謹識」

【刊記】「天明八年戊申冬十二月／大坂書肆 藤屋善七」（大坂書肆 藤屋善七）入木

【印記】「城端瑞泉寺」（墨文長方印）、「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

**孝經大義二卷**（本末鼈頭本 存末） 宋朱熹刊誤 元董鼎註

日本〔毛利玄斎〕注 延宝年間刊後印本 存大一冊 I c 9

【版式】单边鼈頭二三・四×一六・二（内一六・一×一三・三）、無界九行一七字注文小字双行、鼈頭・傍注・返点・音訓合符・添仮名、双魚尾黒口、版心題「孝経」、題簽「孝経大義坤」（後補鈔）

【著録事項】首「孝経大義末」、次成化二十二年徐貫〔跋〕次成化二十二年徐貫〔跋〕末「成化二十二年歲次丙午秋九月甲子／賜進士通奉大夫福建等処承宣布政使／司右布政使淳安徐貫謹識」、又鼈頭部有寛文七年〔毛利貞斎〕跋

【書入】墨筆朱筆あり。

**孝経集註** 宋朱熹刊誤 元董鼎註 朝鮮盧益煥編纂 昭和一〇年（一九三五）京城新旧書林排印本 半一冊 I c 10

※『孝経大義』のハングル訳。

#### d 日本人注釈

**孝経示蒙句解**〔中村惕斎〕元禄一六年（一七〇三）序京都武村新兵衛刊本 大一冊 I d 1

【版式】单边二一・四×一五・五、無界七行一四字国字解小字双行、傍訓・句点・返点・音訓合符・添仮名、双魚尾白口、版心題「孝経句解」、題簽「孝経示蒙句解 全」、

【著録事項】首元禄一六年藤井懶斎「孝経示蒙句解序」末「元

禄癸未五月穀日／伊蒿子膝臧季廉序」、次「孝経示蒙句解」

【刊記】「華洛二条／書肆武村新兵衛刊行」

【印記】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）、「巖松堂古典部／波多埜扱斯書」（朱文長方印）

同 元禄一六年（一七〇三）序刊京都菊屋七郎兵衛後印本 大一冊 I d 2（I d 1同版）

【版式】单边二一・三×一五・六、以下同前

【著録事項】同前、末有「菊華堂藏板仮名本拔書目録（寺町通松原上ル町西側／菊屋七郎兵衛板元）」

【奥付】「京都書林／寺町通松原上ル町西側／菊屋七郎兵衛／板行」

【書入・印記】奥付書入「西主忠」、表紙に朱文正方印「大森／文庫」紙片貼付

※元禄一六年序刊本の刊記削去。

**孝経刊誤集解** 仲欽敬甫（中村惕斎）著 増謙益夫（増田立軒）編 元禄一七年（一七〇四）京都竹村新兵衛刊本 大一冊 I d 3

【版式】单边二一・六×一五・三、無界七行一四行注文小字双行、句点・返点・音訓合符・添仮名、双魚尾白口、版心題「孝経集解」、題簽「孝経刊誤集解」（後補鈔）

【著録事項】首元禄九年増田立軒「孝経刊誤集解序」末「元禄九年六月既望／阿陽増謙益夫謹序」、次「孝経刊誤集解／平

安仲欽敬甫著／門人増謙益夫編

【刊記】「元禄十七年甲申正月日／華洛二条／書肆武村新兵衛刊行」

【書入・印記】書末に「上屋鋪 関氏」、裏見返しに「加治 上屋鋪 関氏」と書入あり、印記「西湖高嶋／太田足立」(墨文長方印)、「上屋／甫氏」(朱文長方印)、「義」「則」(上朱文下白文長方印)、「多賀藏／珍賞印」(朱文長方印)、「林琅閣」(朱文長方印)

孝経 冢田虎註 安永七年(一七七八)江戸嵩山房小林新兵衛刊本 大一冊 Id 4

【版式】双辺二〇・三×二三・七、有界九行一八字注文小字双行、句点・返点・音合符・四声点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝経」象尾「環堵室」、見返し「環堵室藏／冢註孝経／東都書肆 嵩山房發行」、題簽「孝経 冢虎註 全」

【著録事項】首安永六年馬場徳方士静「刻冢註古文孝経序」末「安永丁酉歳冬十一月朔／馬場徳方士静謹序」、次安永四年冢田虎「註孝経序」末「安永四年乙未十月己亥／冢田虎叔貌序」、次「孝経／日本 信濃 冢田虎註／開宗明誼章第一」、書末「冢田多門著」

【刊記】「安永七年戊戌春二月刻／江都日本橋書肆嵩山房／小林新兵衛發行」

孝経(經典余師) 溪氏〔百年〕訳 天保一四年(一八四三)

大坂河内屋太助等刊本

半一冊 Id 5

【版式】左右双辺兩層一八・〇(上四・一下一三・九)×一三・二、有界九行一四字国字解双行、首書・傍訓・句点・返点・音合符・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝経」魚尾上「經典余師」象尾「河内書屋梓」、見返し「天保再板(横書)／讃岐溪百年先生述(翻刻／必究)／(經典／余師)孝経之部全／(書肆識語) 浪華書林文積堂文金堂梓」

【著録事項】首「經典余師孝経／凡例附言」、次「孝経／溪氏訳／開宗明誼章第一」(上層「説法／孝経／開宗明誼章第一」)末「溪代録謹訳」(上層「天明七年／丁未十一月／刻／文化六年／己巳七月／二刻／天保十四年／癸卯九月／三刻」)

【奥付】「天保十四年(癸卯)歳九月再刻／皇都書林 出雲寺文治郎／東都書林 須原屋茂兵衛／浪華書林 河内屋仁助／河内屋太助」(上層有「經典余師／出来目録」)

【書入】表紙「明治廿二年求之」「孝経之部 全」、裏表紙「下内町／相蘇定次郎」

同 【明治期】後印本(天明七年(一七八七)刊本覆刻) 半一冊 Id 6

【版式】左右双辺兩層一八・九(上四・三下一四・六)×一三・四、有界九行一四字国字解双行、首書・傍訓・句点・返点・音合符・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝経」象尾「群鶴堂梓」



【著録事項】首「孝經／溪氏訳／開宗明誼章第一」（上層「誦法／孝經／開宗明誼章第一」）

【印記】「大河原藏書」（朱文長方印）

孝經（幼童必読古文孝經余師）「溪百年」〔江戸後期〕江戸嵩山房小林新兵衛刊本 中一冊 Id7

【版式】単辺兩層一五・五（上三・四下一二・一）×九・八、有界七行一二字注文国字解小字双行、首書・傍訓・句点・返点・音合符・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經」、見返し「幼童必読／古文孝經（余師）」全／江戸書肆 嵩山房梓、題簽「古文孝經（余師）」全

【著録事項】首「序」（版心）、次「誦法」、次「孝經／開宗明誼章第一」、末有「嵩山房出版目錄」末「東都書肆 嵩山房 日本橋通二丁目／小林新兵衛」

古文孝經和字訓 「冢田大峯」天明八年（一七八八）江戸嵩山房小林新兵衛刊本 大一冊 Id8

【版式】単辺二・六×一四・四、有界八行一六字和字訓双行、傍訓、単魚尾白口、版心題「孝經和字訓」象尾「嵩山房板」、見返し「大峯先生訓 門人巖井夙上木／古文孝經和字訓／江都書肆 嵩山房梓行」、題簽「古文孝經和字訓」

【著録事項】首「古文孝經和字訓」

【奥付】「塚田多門訓／天明八年戊申正月望／江都日本橋書肆／小林新兵衛板」

【書入・印記】表紙朱筆書入「第參拾九号 全三冊」、印記「広通／館藏／書印」（朱文正方印）

同 Id9（Id8同版）

【版式】【著録事項】【奥付】同前

【印記】「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

孝經小解 「熊沢蕃山」天明八年（一七八八）江戸西村源六等刊本 大二冊 Id10

【版式】書型二六・五×一八・二、無辺無界一二行一八字注文小字和文、和文傍訓・返点・添仮名、題簽「孝經小□」

【著録事項】首天明八年源定環「孝經小解序」末「天明戊申仲冬之日／崑山草加源定環循仲題」、次「孝經小解」、末有「山金堂藏板書籍目錄（本石町／十軒店）山崎金兵衛」

【奥付】「天明八（戊／申）歲／仲冬良辰 大坂心齋橋馬町／荒木佐兵衛／江都本石町十軒店／山崎金兵衛／同 本町三丁目／西村源六」

【印記】「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）、「牧崎／澤村／藏書」（朱文正方印）

同 「天明八年江戸西村源六等刊」文政三年（一八二〇）江戸文会堂山田佐助等印本 大一冊 Id11（Id10同版）

【版式】書型二五・四×一七・九、（版面同前）、見返し「熊沢了芥先生講釈（千里必究／不許翻刻）／孝經小解／東都書舗 文会堂發行」、題簽「孝經小解」（後補鈔）



【著録事項】 同前

【奥付】「〔東都両国橋西書舗文会堂統刻発兌書目開列于左〕

／文政三年〈庚／辰〉初冬／書林 京都六角通御幸町 小川

太左衛門／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛／同新右衛門

町 前川六左衛門／同下谷仲町 須原屋伊八／同神田鍛冶町

二丁目 北島長四郎／同両国橋通吉川町 山田佐助」

【印記】「湯浅／家藏」（朱文正方印）、「寧靜／居藏」（朱文正方

印）

古文孝經解 金勝仙 享和二年（一八〇二）江戸嵩山房小林新

兵衛刊本 大一冊 I d 12

【版式】单辺一九・一×二三・五、有界九行一六字国字解小字

双行、傍訓・返点、单魚尾白口、版心題「古文孝經解」象尾

「嵩山房」、見返し「金勝先生辯」〈不許翻刻／千里必究〉／

〈和字／正註〉古文孝經解／東都書肆 嵩山房梓」

【著録事項】首享和二年金勝仙「古文孝經和字正註」末「金勝

仙／享和二年戊戌八月」、次「古文孝經解／開宗明誼章第一」、

次享和二年隱士某「古文孝經和字正註跋」末「享和二年戊初

冬 東都 隱士某謹書」、書末「東都 書肆 嵩山房 小林

高英板」「孔安国之解 近刻」

【奥付】「〔出版広告〕／享和二年戊戌初冬／江戸書肆 日本橋

南二丁目／小林新兵衛梓」

【書入・印記】表紙「〈和字／正註〉古文孝經解 金勝仙」、印

記「鳳嶋／圖書」（白文正方印）、「忠恕天一」（朱文長方印）、

「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

古文孝經講釈二卷（太宰）春台先生定本 小林文由録 文化

一二年（一八一五）江戸嵩山房小林新兵衛刊本 半二冊 I

d 13

【版式】左右双辺一七・五×二二・九、有界一〇行二三字国字

解小字双行、返点・添仮名、单魚尾白口、版心題「孝經講

釈」象尾「嵩山房」、見返し「春台先生定本」〈不許翻刻／千

里必究〉／〈古／文〉孝經講釈〈全部／二冊〉／東都書肆

嵩山房梓」、題簽「古文孝經講釈」

【著録事項】首「古文孝經講釈卷上／古文孝經序」、次享保一六

年太宰純「重刻古文孝經序／春台先生定本 小林文由録」末

「日本享保十六年辛亥十一月壬午／太宰純謹序」、次「孝經／

開宗明誼章第一」

【奥付】「〔出版広告〕／文化十二乙亥初夏 東都書肆嵩山房

日本橋通南貳町目／小林新兵衛板」又有出版広告、

孝經国字解二卷 伊藤祐義忠岱著 文政一〇年（一八二八）刊

本（仰繼堂藏板） 大一冊 I d 14

【版式】左右双辺一九・九×二二・九、有界六行一六字国字解

双行二三字、句点・返点・添仮名、单魚尾白口、版心題「孝

經国字解」象尾「仰繼堂藏板」、見返し「文政十年丁亥春新

鐫（横書）／鹿里伊藤忠岱著／孝經国字解／仰繼堂藏」、題

簽「孝經国字解 全」

【著録事項】首文政九年太田晴軒「孝經国字解叙」末「文政丙戌暢月七日／晴軒 太田敦謹撰」、次「老子国字解卷上／信濃 伊藤祐義忠俗著（第二・三行跨行）／大意」、次文政一〇年海保尚賢「序」（版心）末「丁亥三月望 海保尚賢撰」

【印記】「月帷文庫」（朱文長方印）、「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

孝經傍訓 三国直準述 門人岡翼田中良知全校 天保七年（一八三六）序刊本（一洗堂藏版） 大一冊 Id 15

【版式】左右双辺兩層二〇・九（上四・一下一六・六）×一六・八、有界九行一八字、首書・傍注・句点・返点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經傍訓」、題簽「鰲／頭」孝經傍訓 全

【著録事項】首天保七年三国直準「序」末「天保七年龍集丙申春二月三国直準謹識」又有天保八年岡翼・田中良知校語（末「時天保丁酉孟春五日也／門人（跨行）一因幡岡翼／越前田中良知一拜書（跨行）」、次三国直準「孝經総説」末「越前三国直準謹撰」又有天保八年林重威校語（末「丁酉之春人日後二日／門人平安林重威敬題」、次「孝經傍訓／越前 三国直準子繩述／門人（跨行）一因幡岡翼／越前田中良知一全校（跨行）」

【刊記】「一洗堂藏版之記」（上部朱文正方印「式洗／堂藏」）、

【印記】「多羅尾」（朱文円印）、「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

孝經證 女護島高橋慎輯録 江戸後期刊本 大一冊 Id 16

【版式】左右双辺二一・八×一五・三、有界一〇行一九字、句点・返点・添仮名、無魚尾白口、題簽「孝經證」

【著録事項】首稼圃「孝經序」末「稼圃」、次「高橋慎」「孝經證序」、次「孝經證／女護島 高橋慎輯録（第二・三行跨行）／開宗明誼章第一」、末有「證拠学著述録 懷河 青信有誌」

【印記】「今治大雄什□／二十二世改之」（墨文長方印）、「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

孝經參釈 魯齋川崎履著 慶応四年（一八六八）江戸一貫堂万屋忠藏等朱墨套印本（尚志堂藏版） 大一冊 Id 17

【版式】単辺一八・八×一三・三、有界一〇行二〇字、句点・返点・添仮名、単魚尾白口「孝經參釈」、見返し「慶応四戊辰春新鐫（横書）／魯齋川崎先生著／孝經參釈 全／東都書肆（嵩山房／一貫堂）発兌」、題簽「孝經參釈 全」

【著録事項】首慶応三年土岐頼之「孝經參釈序」末「慶応三年丁卯三月穀旦／沼田城主 土岐頼之」、次慶応二年秋月種樹「孝經參釈序」末「慶応丙寅桂月旬又八／冀秋月種樹」、次元治元年川崎履「孝經參釈序」末「元治紀元甲子臘月 魯齋川崎履謹識」、次「孝經參釈／魯齋川崎履著」末「男 川崎行恭／門人（跨行）一若松行尚 同校／猪野中行」、次慶応三

年猪野中行「孝経参釈跋」末「慶応三年丁卯三月穀旦昌平／  
賛助教猪野中行拝撰」

【奥付】「尚志堂藏版／慶応四年辰年春刻成／日本橋通二丁目／  
小林新兵衛／製本書林 芝飯倉町五丁目／万屋忠蔵」

同 慶応四年（一八六八）刊昭和十年（一八三五）東京吉川弘  
文館影印本 大一冊 I d 18

※首に文部大臣松田源治題辭、次徳富蘇峰題辭、次松平春嶽秋  
月種樹往復書簡あり。

孝経（古文孝経略解） 細野栗斎著 明治七年（一八七四）愛  
知秋田屋源助刊本 半一冊 I d 19

【版式】 单边両層一七・三（上四・一下二三・二）×二三・〇、  
有界九行一四字国字解小字双行、首書・句点・返点・音合  
符・添仮名、無魚尾白口、版心題「孝経畧解」、見返し「官  
許（横書）／細野栗斎著／〈古／文〉孝経畧解 完／〈明治  
七稔／十二月発市〉文光堂蔵梓」、題簽「〈古／文〉孝経略解  
〈細野栗斎著〉 完」

【著録事項】 首明治六年細野栗斎「叙」末「明治六年八月／栗  
斎識」、次「古文孝経略解凡例」、次「孝経／（国字解）／開  
宗明誼章第一」

【奥付】「（出版広告）／官許 明治七年七月／同年十二月刻成  
／書肆 尾張名古屋本町通十一丁目／秋田屋源助発兌」

古文孝経略解 渡井量蔵註釈 明治一五年（一八八二）山梨徴

古堂東浦榮二郎刊本 半一冊 I d 20

【版式】 双辺両層一八・九（上四・七下一四・二）×一二・五、  
有界一〇行国字解双行二〇字、首書・句点・返点・添仮名、  
单魚尾白口、版心題「古文孝経略解」、見返し「古文孝経／  
畧解」、題簽「古文孝経畧解〈渡井量蔵註釈〉 全」

【著録事項】 首明治一五年渡井夢南「叙」末「明治壬午第一月  
／渡井夢南識」、次「古文孝経序略解／山梨県 渡井量蔵註  
釈／古文孝経序」、次「古文孝経序略解卷上／山梨県 渡井  
量蔵註釈／開宗明誼章第一」以下卷下

【刊記】「明治十五年五月一日版權免許／同年五月廿五日出版／  
註釈人 山梨県平民／渡井量蔵／西山梨郡橋町一番地／出版  
人 全／東浦榮二郎／全郡柳町百七十一番地／〈製本／発  
兌〉甲府書林 徴古堂」又有「発兌書林」九氏

【書入・印記】 裏表紙書入「橋本蔵書」、印記「人□堂／橋本氏  
／蔵書印」（朱文正方印）

孝経纂註 漢弘安国伝 日本五十川左武郎纂註 明治一六年  
（一八八三）大阪北村庄助刊本 半一冊 I d 21

【版式】 双辺両層二〇・八（上四・一下一六・七）×一四・五、  
有界一〇行二〇字注文小字双行、首書・傍点・返点・四声  
点・添仮名、单魚尾白口、版心題「孝経纂註」象尾「此村蔵  
版」、見返し「漢魯人孔安国伝／日本備後 五十川左武郎輯  
釈（版權／免許）／〈鼈／頭〉孝経纂註／浪華書肆 此村

欽英堂藏梓」・題簽「〔鼈頭〕古文孝經纂註 全」

【著録事項】首孔安国「古文孝經序／孔安国」、次明治一六年五十川淵「序」末「明治癸未十月中浣 備後五十川淵撰」、次「孝經纂註／漢魯人 孔安国伝／日本備後 五十川左武郎纂註／開宗明誼章第一」

【刊記】「明治十六年五月三日 版權免許／同年十一月 刻成發售／編輯人 広島県士族／五十川左武郎／大阪府西区靱上通二丁目／十五番地／出版人 大阪府平民／此村庄助／南区順慶町通四丁目／三番地」

【印記】「平川／之印」（朱文正方印）

同 I d 22 (I d 21同版)

【版式】单辺二〇・八（上四・一下一六・七）×一四・七、（版面同前）、（見返し版面 I d 21桃色、本書黄色）

【著録事項】【刊記】同前

鼈頭句解古文孝經講義 春日仲淵述 明治一七年（一八八四）大阪吉岡平助刊本 半一冊 I d 23

【版式】双辺両層一八・六（上二・二下一六・四）×一二・一、有界一〇行二〇字国字解小字双行、首書・句点・返点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經講義」象尾「吉岡氏藏版」、見返し「漢魯孔安国伝来／日本春日仲淵講義」／〔鼈頭／句解〕古文孝經講義／版權所有 吉岡氏藏梓」・題簽「〔鼈頭／句解〕古文孝經講義（春日仲淵著）完」

【著録事項】首孔安国「古文孝經序／孔安国」、次「〔鼈頭／句解〕古文孝經講義／京都 春日仲淵述／（国字解）／開宗明誼章第一」（上層「句解」）

【奥付】「明治十六年十二月十九日 版權免許／全十七年一月刻成出版／講義者 京都府士族／春日仲淵／大阪府下大和国添上郡奈良／高島村字墓堤廿七番地寄留／出版人 大阪府平民／吉岡平助／府下東区備後町四丁目／三十七番地／發兌人 全／北村孝二郎／府下東区本町四丁目、」

孝經集註 近藤元粹純叔著 明治一六年（一八八三）大阪中川勘助刊本 大一冊 I d 24

【版式】单辺両層二一・〇（上四・二下一六・九）×一四・八、有界一〇行二〇字注文小字双行、首書・句点・返点・音訓合符・四声点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝經集註」象尾「明善堂藏」、見返し「明治十六年四月新刻（横書）／伊予松山近藤元粹著（版權／免許）／孝經集註／浪華書肆 明善堂藏版」

【著録事項】首明治一六年近藤元粹「序」末「明治十六年二月南州外史近藤元粹撰」、次「孝經集註／伊予松山 近藤元粹純叔著／開宗明義章第一」

【奥付】「明治十六年三月二十七日 版權免許／同十六年四月刻成／著者 愛知県士族／近藤元粹／伊予国温泉郡小唐人町／貳丁目廿九番地／出版人 大阪府平民／中川勘助／東区博

勞町四丁目／四十三番地」

同 I d 25 (I d 24・26・27同版)

【版式】単辺両層二・一 (上四・〇下一七・一) × 一四・八、  
以下同前

【著録事項】【奥付】同前

【印記】「鳥取県／褒賞印」(朱文正方印)、「多賀城／珍賞印」  
(朱文長方印)、「多賀／臧印」(朱文正方印)

同 I d 26 (I d 24・25・27同版)

【版式】単辺両層二・一 (上四・〇下一七・一) × 一四・八、  
以下同前

【著録事項】【奥付】同前

同 I d 27 (I d 24・25・26同版)

【版式】単辺両層二・一 (上四・一下一七・〇) × 一四・七、  
以下同前

【著録事項】【奥付】同前

【印記】「小久保／之印」(朱文正方印)

傍注輯釈孝経定本 牧野謙著 明治二六年(一八九三) 東京青  
山清吉排印本 半一冊 I d 28

【版式】双辺両層二〇・九 (上七・二下一三・七)、首書・傍  
注・句点・返点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝経定本」、  
題簽「〔傍注／輯釈〕孝経定本 全」

【著録事項】首「〔傍注／輯釈〕孝経定本／讃岐 牧野謙著」

【奥付】「明治廿六年四月四日印刷／明治廿六年四月六日出版／

著者 牧野謙／下谷区上野花園町七番地／〔発行兼／印刷  
者〕青山清吉／小石川区大門町廿五番地／発売者 吉川半七  
／(後略)」

【書入】墨筆あり。

孝経塾本 谷鋈臣手録 明治二九年(一八九六) 京都文石堂北  
邨四郎兵衛刊本 半一冊 I d 29

【版式】単辺一八・〇×一二・三、無界六行一三字、傍注・句  
点・返点、単魚尾白口、象尾「枕易齋」、見返し「谷鋈臣摘  
録／孝経塾本／枕易齋藏版」

【著録事項】首明治二九年谷鋈臣「孝経塾本引」末「明治廿九  
年三月／谷鋈臣撰」、次「孝経塾本／谷鋈臣手録／第一章」

【奥付】「明治廿九年五月十一日印刷／同年五月十六日發行／著  
作者 京都市上京区御幸町夷川上松本町九番戸／谷鋈臣／  
〔発行兼／印刷者〕京都市上京区柳馬場町御池下八幡町七番  
戸／文石堂 北邨四郎兵衛」

三体標注孝経 田口福司朗 昭和三七年(一九六二) 一徳会排  
印本 半一冊 I d 30

## Ⅱ 今文

### a 单経



**孝經** 日本釈一桂校点 弘化三年（一八四六）跋刊本（〔京都

北野宮寺学堂藏版） 大一冊 II a 1

【**版式**】 单辺二一・四×一四・七、有界七行一七字、句点・返点・音訓読符・添仮名、版心無、外題（表紙打付書）「孝經」

【**著録事項**】 首元行冲「御注孝經序／左散騎常侍兼麗正殿修国史上柱国／武強県開国公臣元行冲奉勅撰」、次（序末接行）

「孝經 御註／開宗明義章第一」、次弘化三年一桂〔跋〕末

「弘化三年臘月桑門一桂記」

【**印記**】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

## b 鄭注

**孝經鄭註** 漢鄭玄註 日本良芸之句 門人邨兼般谷文卿校 宝

曆三年（一七五三）刊京都吉田長兵衛等後印本 大一冊 II

### b 1

【**版式**】 单辺両層二〇・〇（上三・〇下一七・〇）×一二・三、

有界六行一二字注文小字双行、首書・句点、单魚尾白口、版心題「孝經」、題簽「孝經古註」

【**著録事項**】 首宝曆三年良芸之「孝經鄭註序」末「宝曆癸酉三

月 良芸之伯耕撰」、次「孝經鄭註／〔漢 北海 鄭玄註／

日本 讃岐 良芸之句〕／門人〔河内邨兼般／平安谷文卿〕

校／開宗明義章第一」

【**刊記**】「宝曆三年癸酉孟春吉旦」

【**奥付**】「皇都書肆 堺屋嘉七／〔書肆九氏略〕／吉田長兵衛」

【**印記**】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

## c 御注

**孝經** 唐玄宗李隆基注 日本藤原憲校 寛政一二年（一八〇

〇）京都河南儀兵衛共利堺屋伊兵衛信成刊本 大一冊 II c

### 1

【**版式**】 双辺一九・七×一四・三、有界九行一七字注文小字双

行、首書・句点・返点、单魚尾白口、版心題「孝經」象尾

「宛委堂」、題簽「孝經御註」

【**著録事項**】 首寛政一二年藤原憲「御註孝經序」末「寛政十二

年庚申五月望阿波後学藤原憲撰」、次元行冲「御注孝經序／

左散騎常侍兼麗正殿修国史上柱国／武強県開国公臣元行冲奉

勅撰」、次玄宗「孝經序」、次「孝經 御註／開宗明義章第

一」末「阿波後学 藤原憲校」

【**奥付**】「寛政庚申閏四月／平安（跨行）一河南儀兵衛共利／堺

屋伊兵衛信成一刊行（跨行）」

【**印記**】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

同 II c 2（II c 1 同版）

【**版式**】 双辺一九・六×一四・三、以下同前

【**著録事項**】 同前



【奥付】破損（一部残存部によれば寛政一二年河南儀兵衛堺屋伊兵衛刊本に同じ）

孝経 唐玄宗李隆基注 日本三條西公条点（寛政一二年（一八〇〇）跋江戸屋代弘賢用）享祿四年京都三条西実隆手鈔本  
景刊 特大一冊 II c 3

【版式】单辺二二・八×一七・一、有界六行一五字注文小字双行、返点・音訓合符・添仮名、題簽「御注孝経」（後補鈔）

【著録事項】首元行冲「御注孝経序／左散騎常侍軍（傍注「兼イ」麗正殿修国史柱（傍注「上イ」国武強／県開国公臣元行冲奉勅撰」、次（序末接行）「孝経 御注／開宗明義章第一」、次文明一八年祥空（識語）末「文明十八姑洗下浣日桑門祥空」又有享祿四年三条西実隆（識語）末享祿辛卯後五月下瀬慈芻堯空」又有天文三年三条西公条（識語）末「時天文第三六月十六日凌晨炎蒸終功了 都督郎公条」

【印記】「下総崎房一秋葉／孫兵衛／蔵書」（朱文正方印）、「秋葉／義之／印」（朱文正方印）、「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

※屋代弘賢景刊本には、天文三年三条西公条識語の次に寛政一二年源弘賢（屋代弘賢）跋があるが、本書は闕。

孝経 増父母生績章第十一 明治二四年（一八九一）跋三条公美用寛政一二年跋江戸屋代弘賢用享祿四年京都三条西実隆手鈔景刊本重景刊（朱墨套印） 父母生績章 用京都三条西実

隆手鈔零片景刊 特大一冊 II c 4（II c 3覆刻）

【版式】单辺二二・六×一六・五、以下同前

【著録事項】首三条実美題辭（末「此二字係先考遺墨／今鉤摹以置卷首／辛卯三月公美敬識」、次元行冲「御注孝経序／左散騎常侍軍（傍注「兼イ」麗正殿修国史柱（傍注「上イ」国武強／県開国公臣元行冲奉勅撰」、次（序末接行）「孝経 御注／開宗明義章第一」、次寛政一二年屋代弘賢（識語）末「寛政十二年五月九日 源弘賢識」、明治一七年三条実美（跋）末「明治甲申七月三条実吉識」、次明治二四年三条公美明治二四年「参考」末「明治廿四年三月十八日不肖公美拝誌」、次「父母生績章第十一 三十字」、次明治一七年三条実美（識語）末「明治十七年九月 後裔藤原実美識」又有明治二四年三条公美（識語）末「辛卯三月 公美拝誌」

※寛政一二年屋代弘賢景刊本の覆刻であるが、該本では省かれていたヲコト点を朱刷りにて加え、末に三条実隆鈔「父母生績章」と実美と公美の識語を付す。

同（修） II c 5（II c 4修）

【版式】【著録事項】同前

第九丁裏第一行「行」の添仮名「ク」を「ソ」に改める。

孝経御註 唐玄宗李隆基注 菅原為徳校 文化五年（一八〇八）京都堺屋伊兵衛信成刊本 大一冊 II c 6

【版式】双辺二〇・三×一五・三、有界九行十七字注文小字双

行、句点、無魚尾白口、見返し「五条菅公定本／御註孝經／平安 書肆 河野信成發行」、題簽「御註孝經」

【著録事項】首元行冲「御註孝經序／左散騎常侍兼麗正殿修国史上柱国／武強県開国公臣元行冲奉勅撰」、次「孝經御註／參議從二位行右大辨兼長門權守菅原朝臣爲德校／開宗明義章第一」、次文化元年菅原爲德「御註孝經後序／參議右大辨菅原爲德撰」末「時文化元年甲子三月也」

【奥付】「菅家藏版／門人増田春耕源〈秋宣〉謹書／文化五年戊辰春正月／平安堺屋伊兵衛〈信成〉發行」又「剗刷氏 萩田桂藏」

【書入・印記】眉欄行間に朱墨書入詳密にあり、印記「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

孝經 増音略一卷校譌一卷 唐玄宗李隆基重注 日本狩谷望之撰校 文政九年（一八二六）跋江戸狩谷望之求古楼用天聖明道間刊本景刊 後修本 大一冊 II c 7

【版式】左右双辺二〇・七×一五・〇、有界一五行二四字内外注文小字双行、無点、無魚尾白口、版心題「孝經」、見返し「大唐開元天／宝聖文神武／皇帝注孝經」、題簽「御注孝經」【著録事項】首玄宗「孝經序／御製序并注」又第一・二行下部「狩谷望之／審定宋本」（跨行）、次（序末接行）「開宗明義章第一」末有「孝經音略」、次文政九年狩谷望之「校譌」末「文政九年十一月長至日市井之臣狩谷望之昧死敬識」

【刊記】（木記）「湯島狩谷氏／求古楼重雕」（音略末）

【印記】「中村文庫」（朱文長方印）、「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

「校譌」第七行「通字欠筆不知何謂……」を「通章献明肅皇太后／家諱……」に改める。

御注孝經 唐玄宗李隆基重注 日本野賀郡平標注 明治一六年（一八八三）静岡松本源一郎刊本 大一冊 II c 8

【版式】双辺兩層二〇・二（上四・五下一五・七）×一二・九、有界一一行二〇字注文小字双行、首書・返点・音合符・添仮名、單魚尾白口、版心題「御注孝經」魚尾上「標注」、見返し「明治十六年十一月鐫（横書）／野賀郡平標注／御注孝經序／松本氏藏版」、題簽「野賀郡／平標注」御注孝經 全【著録事項】首明治一六年随軒老隱潜「重刻御注孝經序」末「明治十六年十月／西駿 随軒老隱潜謹序」、次玄宗「孝經／御製序并注」、次「御注孝經／野賀郡平標注／開宗明義章第一」

【奥付】「明治十六年十一月六日版權免許／同年同月三十日出版／標注人 静岡県平民／野賀郡平／（住所略）／出版人 同／松本源一郎／（住所略）／発売人 同／杉森染八／（以下発売人八氏略）」又末有「各府県發行書肆」

【書入・印記】朱筆あり、印記「藤印／忠淳」（白文正方印）、「多賀藏／珍賞印」（朱文長方印）

同 II c 9 (II c 8同版)

【版式】【著録事項】【奥付】同前

孝經 増宮内省図書寮尊蔵北宋刊本御注孝經解説 唐玄宗李隆

基注 増長澤規矩也 昭和七年(一九三二) 日本書誌学会用

北宋刊本景照 半一冊 II c 10

【版式】单辺二〇・八×一五・二、有界一五行二五字注文小字

双行、無点、無魚尾白口、版心題「孝經」

【著録事項】首玄宗「孝經序／御製序并注」、次(序末接行)

「開宗明義章第二」末有「孝經音略」

【印記】「小林」(朱文円印)、「多賀藏／珍賞印」(朱文長方印)

狩谷望之旧蔵書陵部蔵本景照。

孝經 唐玄宗李隆基注 昭和一五年(一九四〇) 東京文求堂書

店用宋刊本縮景印 半一冊 II c 11

【版式】有界八行一七字注文小字双行

御註孝經 唐玄宗李隆基注 康徳四年(一九三七) 満日文化協

会活字印本 大一冊 II c 12

【版式】双辺一五・三×一二・一、有界一〇行二〇字注文小字

双行、無点、單魚尾白口、版心題「御註孝經」、封面「康徳

四年／御註孝經／満日文化協会刊行」、題簽「御注孝經」

【著録事項】首玄宗「御製孝經序」、次「御註孝經／開宗明義章

第一」

孝經定本 小柳司氣太校閱 猪口篤志編 昭和一四年(一九三

九) 東京松雲堂書店排印本 中一冊 II c 13

【版式】单辺一六・五×一一・四、無界八行一七字注文小字双

行、句点・返点・添仮名、見返し「文学博士小柳司氣太先

生校閱／猪口篤志編」／孝經定本 全／東京 松雲堂書店発

行、題簽「孝經定本 全」

【著録事項】首玄宗「孝經序／唐玄宗皇帝御製」、次「孝經定本

／文学博士 小柳司氣太校閱／猪口篤志編／開宗明義章第

一」

【奥付】「昭和十四年七月一日印刷／昭和十四年七月五日発行／

編輯者 猪口篤志／発行者 東京市神田区神保町三丁目一番

地／野田文之助／印刷者 東京市神田区神保町三丁目十番地

／春山治部左衛門／発売元 東京市神田区神保町三丁目／松

雲堂書店／(後略)」

【書入】裏表紙「二ノ五(四) 倉瀧宗一郎」

d 中国人注釈

孝經正義九卷(孝經註疏) 宋邢昺註疏 寛政二年(一七九〇)

京都唐本屋吉左衛門刊本 大三冊 II d 1

【版式】左右双辺二二・五×一四・〇、無界九行二一字注文小

字双行、返点・音合符・添仮名、單魚尾白口、版心題「孝經

正義」、見返し「寛政再刻／孝經註疏／皇都書肆 玉樹堂」、

題簽「孝經註疏 上(中・下)」

【著録事項】首寛政二年伊藤善韶「再刻孝経註疏序」末「時／寛政二年庚戌夏六月／伊藤善韶序」、次邢昺「孝経註疏序」末「翰林侍講学士朝請大夫守国子祭酒上柱国賜紫／金魚袋臣邢昺等奉 勅校定註疏」又有郷貢傳序、次玄宗「孝経序」、次「孝経正義／宋邢昺註疏／御製序并註疏」、次「孝経註疏卷一 宋邢昺校」以下至卷九

【奥付】「寛政二年庚戌六月再板／京都書林 西堀川通仏光寺下ル町／唐本屋吉左衛門」

【印記】「大依／臧書」（朱文正方印）、「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

# e 日本人注釈

玄宗御註孝経補義 「福井軼（敬斎）」 天明八年（一七八八）  
跋刊本（篠山振徳堂藏版） 大一冊 II e 1

【版式】単辺一九・〇×一二・九、有界八行一七字注文小字双行、返点、単魚尾白口、版心題「孝経」象尾「振徳堂藏版」、見返し「新鐫（横書）／玄宗御註／孝経補義」、題簽「（玄宗／御註）孝経補義」（角書欠損）

【著録事項】首「藤原忠裕」「玄宗御註孝経補義序」、次玄宗「孝経序」、次「玄宗御註孝経補義／開宗明義章第一」末「天明八年歲次戊申夏六月吉日／〈臣〉米〈照乘〉拜手稽古首敬書」、次「天明二年」福井軼「玄宗御註孝経補義後序」末

「五月二十又二日軼謹薰浴而序其後云／平安福井軼拜手謹書于篠山客館」又有白文正方印「篠山振／徳堂／藏板」

【印記】「中川／之印」（朱文正方印）、「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝経（増攷孝経鄭氏解補證） 漢鄭玄解 清洪頤煊補証 東條弘増 文化一一年（一八一四）螺贏窟刊本 大一冊 II e 2

【版式】単辺二〇・一×一三・四、有界九行一九字注文小字双行、返点・添仮名、無魚尾白口、版心題「孝経鄭氏解」象尾「螺贏窟」、見返し「文化甲戌鐫（横書）／〈清洪頤煊補證／日本東条弘増攷〉／孝経鄭氏解／螺贏窟」、題簽「増攷孝経鄭氏解補證 完」

【著録事項】首東条弘「増攷孝経鄭氏解補證提要」、次「孝経／鄭氏解（第二・三行跨行） 清臨海洪頤煊補證／日本上総東条弘増攷」、次文化一一年宮原明雄「増攷孝経鄭氏解補證跋」末「文化甲戌重九／江戸 宮原明雄謹記」

【書入・印記】眉注あり、印記「中田／藏書」（朱文正方印）、「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝経（孝経発揮） 津阪孝綽 文政八年（一八二五）津山形屋伝右衛門等刊本 大一冊 II e 3

【版式】左右双辺一九・二×一三・六、有界一〇行二〇字注文小字双行、傍注・返点・添仮名、単魚尾白口、版心題「孝経発揮」、見返し「文政丙戌新刊／孝経発揮／有造館藏版」

【著録事項】首文政六年津阪孝緯「刻孝經發揮序」末「皇和文

政六年歲次癸未陽月初吉／津藩国校督学兼侍講津阪孝緯謹叙」、次津阪孝緯「孝經序説」末「伊勢津阪孝緯謹識」、次「孝經／開宗明義章第一」

【奥付】「文政八年乙酉十月初吉／欽准發行／書林 京都寺町御池上処／鉛屋安兵衛／江戸中橋広小路／西宮弥兵衛／大阪心齋橋順慶町／柏原屋清右衛門／名古屋本町七丁目／永樂屋東四郎／津京口堅町／山形屋伝右衛門」又朱文長方印「京御幸町御池南／書林菱屋孫兵衛」

【書入・印記】表紙「孝經發揮」、印記「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

同 津阪孝緯 明治十六年（一八八三）新潟梅楓交枝軒室直三郎銅版本 大一冊 II e 4

【版式】同前、見返し「明治十六年八月発兌（横書）／有造館原版／孝經發揮／梅楓交枝軒翻刻」、題簽「孝經發揮 完」

【著録事項】同前

【奥付】「文政八年乙酉十月初吉原版發行／明治十六年七月七日翻刻御届／同年八月七日銅鑄出版／原版主 有造館／翻刻人新潟県平民／室直三郎／中頸城郡高田稲田鍛／治町四十四番地」

※文政八年刊本銅版覆刻。

孝經（孝經集伝） 山本惟孝集伝 天保四年（一八三三）紀州

帶屋伊兵衛等刊本（学習館蔵版） 大一冊 II e 5

【版式】左右双辺二〇・三×一四・五、有界九行一九字注文小字双行、首書・句点・返点・添仮名、单魚尾白口、版心題「孝經」、題簽「孝經集伝」

【著録事項】首文政一三年山本惟孝「孝經集伝序」末「文政庚寅春三月 紀伊 山本惟孝謹序」、次「孝經（紀伊 山本惟孝集伝）」

【刊記】「南紀学習館蔵版之記」（上部朱文正方印「学習／館」）／天保四年癸巳六月発兌／發行書林 江戸日本橋通壹丁目／須原屋茂兵衛／同二丁目／同新兵衛／大阪心齋橋南二丁目／敦賀屋九兵衛／同安堂寺町／秋田屋太右衛門／紀州若山新通三丁目／総田屋平右衛門／同二丁目／帶屋伊兵衛」

【印記】「多賀臧／珍賞印」（朱文長方印）

孝經定本 松本豊多著 明治二年（一八八八）江戸嵩山房小林新兵衛刊本 大一冊 II e 6

【版式】双辺一九・二×一三・一、有界一〇行二〇字注文小字双行、句点・返点・添仮名、单魚尾白口、版心題「孝經定本」、見返し「松本豊多著／孝經定本／（明治廿一年／七月發行）松本氏蔵版」、題簽「孝經定本（松本豊多著）全」

【著録事項】首明治二二年西尾忠篤題辭（末「明治二十一年四月／正五位子爵西尾忠篤書」）、次光緒一五年黎庶昌（序）末「遵義黎庶昌／大清光緒十五年正月既望」、次明治二二年松本



豊多「孝經定本序」末「明治戊子六月 松本豊多自序」、次  
玄宗「孝經序／唐玄宗」、次「孝經定本／安房 松本豊多著」、  
次明治二一年山井重章「孝經定本跋」末「明治廿一年六月西  
条山井重章識」

【奥付】「明治三十一年七月一日印刷／全二十一年七月三日出版  
／版權所有（横書） 著作者 東京牛込区／市ヶ谷田町三丁  
目十九番地／松本豊多／發行者 東京日本橋区／通二丁目十  
三番地／小林新兵衛／印刷者 東京日本橋区／川瀬石町三番  
地／下村初太郎」又有「弘通書肆」一〇氏

同 大一冊 II e 7 (II e 6 同版)

【版式】同前

【著録事項】黎庶昌序無し、他同前

【書入・印記】表紙「御注／孝經定本 松本豊多」、印記「多賀  
臧／珍賞印」（朱文長方印）、「□中」（朱文円印）

孝經会通 岩垂憲徳述 昭和一〇年（一九三五）東京吉川弘文  
館排印本 半一冊 II e 8

同 昭和十一年（一九三六）東京吉川弘文館排印本 半一冊  
II e 9

### Ⅲ 折衷本

孝經集覽二卷 漢孔安国伝 唐玄宗皇帝御注 宋邢昺疏 宋朱  
熹刊誤 日本山本信有輯 安永四年（一七七五）刊江戸高山  
房小林新兵衛後印本 大一冊 III 1

【版式】単辺両層二三・二（上四・下一九・一）×一四・八、  
有界一〇行二〇字注文小字双行、首書・傍点・返点・添仮  
名、双魚尾白口、版心題「孝經乙卷」象尾「奚疑塾藏」、見  
返し「北山先生輯〈不許讎刻／千里必究〉／孝經集覽 二冊  
／〈安永四年／乙未新鐫〉奚疑塾藏」、題簽「孝經集覽 下」  
（「下」字上に書入「上」）

【著録事項】首安永三年山本北山「孝經集覽序」末「安永三年  
甲午孟冬／北山 山本信有喜六」、次享保一六年太宰純「古  
文孝經序」末「日本享保十六年辛亥十一月壬午／太宰純謹  
序」、次孔安国「古文孝經序／孔安国」、次玄宗「孝經序／玄  
宗皇帝」、次邢昺「孝經註疏序／宋翰林侍講學士朝請大夫守  
国子祭酒上柱国／賜紫金魚袋臣邢昺等奉 勅較定註疏」、次  
「孝經集覽卷之上／漢 孔安国伝／唐 玄宗皇帝御註／  
宋 邢昺疏／朱熹刊誤／日本 山本信有〈乙／輯〉／開宗明  
誼章第一〈經一百二／十五字〉」

【刊記】「山本喜六著／乙未安永四年正月 刻成」又有「嗣出著  
述目錄」



【奥付】「(出版広告) / 江戸 書肆嵩山房 / 小林新兵衛梓行」

【印記】「山田藏書」(朱文長方印)、「多賀藏 / 珍賞印」(朱文長方印)

孝經(較定孝經) 山本信有較 寛政九年(一七九七) 刊本

(明道館藏版) 大一冊 III 2

【版式】双辺二〇・四×一二・八、有界九行二一字注文小字双行、首書・返点、单魚尾白口、版心題「較定孝經」象尾「明道館藏」、題簽「較定孝經 完」

【著録事項】首寛政九年源義和題辭(末「寛政丁巳夏 / 源義和」、次寛政七年山本北山「孝經較例」末「寛政乙卯六月吉旦 / 北山 山本信有識」、次「孝經 / 武藏 山本信有較 / 開宗明誼章第一」

【印記】「織田 / 氏図 / 書記」(朱文正方印)、「立原 / 藏書」(朱文正方印)、「多賀藏 / 珍賞印」(朱文長方印)

同 III 3 (III 2 同版)

【版式】同前

【著録事項】源義和序無し、以下同前

【印記】「多賀藏 / 珍賞印」(朱文長方印)

#### IV 総論その他

孝經集靈(孝經大全之一) 明虞淳熙述 明江元祚訂 (江戸前

期) 刊本 大一冊 IV 1

【版式】双辺一八・四×一二・六、無界九行一九字、返点・音訓合符・添仮名、無魚尾白口、版心題「孝經集靈」、題簽「孝經大全」

【著録事項】首「孝經集靈(辛集) / 卷上 / 錢塘虞淳熙述 / 仁和江元祚訂」

【印記】「多賀藏 / 珍賞印」(朱文長方印)

孝經兩造簡孚 東條弘著 文政一三年(一八三〇) 螺贏窟刊江

戸期修本 大一冊 IV 2

【版式】单辺二〇・〇×一三・四、無界一二行二九字和文、無魚尾白口、版心題「孝經兩造簡孚」象尾「螺贏窟」、見返し「文政庚寅鐫(横書) / 一堂東条弘士毅著 / 孝經兩造簡孚 / 螺贏窟」、題簽「孝經兩造簡孚 完」

【著録事項】首「孝經兩造簡孚 / 東条弘著」

【書入・印記】裏表紙書入「下藏々本」、印記「梅華園藏」(朱文長方印)、「多賀藏 / 珍賞印」(朱文長方印)

孝經(支那古典叢函) 昭和八年(一九三三) 方圓寺書院排印本 半一冊 IV 3

孝經・孝經碑陰記解 遠藤隆吉 昭和九年(一九三四) 東京巢園学舎出版部排印本 半一冊 IV 4

孝經碑 昭和十一年(一九三六) 内田周平排印本 半一冊 IV 5

同

IV  
6